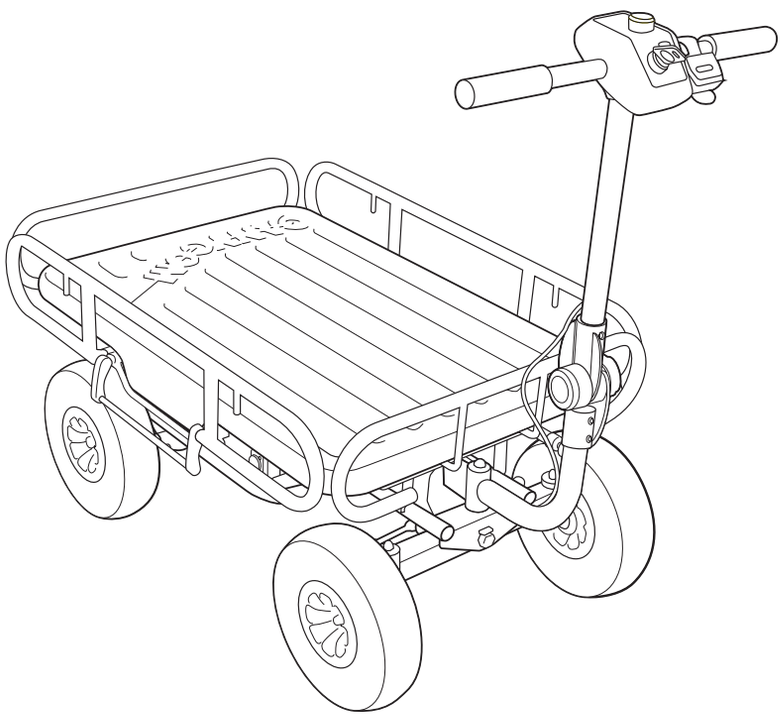
CANYCOM

マルチ電動カート

ついてくるか〜い

JASPER Electric Utility Cart EJ20

取扱説明書



⚠ 警　告

・本書を読んで理解するまでは、本製品の使用および保守・点検を行わないでください。
・本書は、本製品の使用または保守・点検を行う場合、いつでも参照できるように大切に保管してください。

4104 5101 001

株式会社 筑水キャニコム

〒839-1396　福岡県うきは市吉井町福益90-1
TEL (0943)75-2195（代）　FAX (0943)75-4396

株式会社 筑水キャニコム

http://www.canycom.co.jp/

〒839-1396　福岡県うきは市吉井町福益90-1
ご注文、製品に関するお問合せは
アドバンスオーダーセンター
TEL (0943)75-8055　FAX (0943)75-8060
部品、修理に関するお問合せは
パーツ・サービスセンター
TEL (0943)75-3170（代）　FAX (0943)75-5861

連絡先控え（販売店名）

本書の無断転載、複写を禁止します。

本書について

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品の正しい操作および保守・点検方法を知っていただくために、詳しい情報を提供することを目的とし作成しています。本製品をご使用になる前に必ず本書を読み、理解された上で、正しい取り扱いをしてください。
なお、本書ははじめて本製品を使用される方を対象として作成しています。

⚠ 警　告

- 本書を読んで理解するまでは、本製品の使用および保守・点検を行わないでください。
- 本書は本製品の使用または保守・点検を行う場合にいつでも参照できるように大切に保管してください。
- 本製品には、潜在する危険があることを知らなければなりません。本製品の操作および保守・点検を行う場合は、必ず本書に従ってください。
- 本製品は公道および公道とみなされる道路での運転はできません。当該道路上での運転による事故および違反につきましては、責任を負いかねます。
- 本製品を改造して使用しないでください。重大な事故の原因となります。

本書の警告について

本書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）にしたがって、警告用語を下記のとおり分類しています。以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警　告　用　語	意　味
⚠ 危　険	差し迫った危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重症を負う場合に使用されます。
⚠ 警　告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重症を負う可能性のある場合に使用されます。
⚠ 注　意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う可能性のある場合に使用されます。また、本製品に物的損害が発生する場合にも使用されます。
アドバイス	注意を促したい場合、使用上役立つ情報について使用されます。

保証とアフターサービスについて

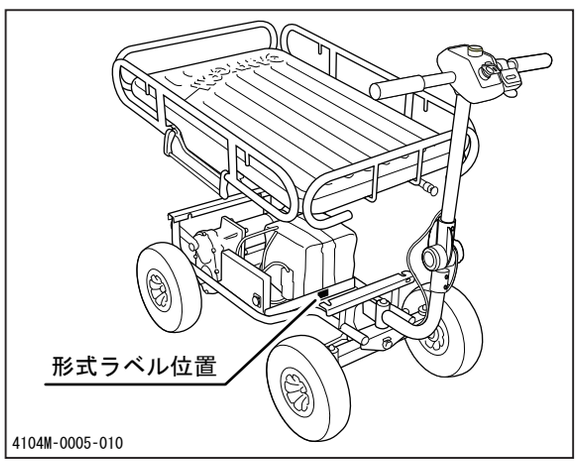
保証について

当社は本製品について、保証書の内容に基づいて保証をいたします。詳しくは本製品に同梱の保証書を参照してください。

アフターサービスについて

ご使用中の不具合、ご不審な点およびサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店または当社センターへお気軽にご相談ください。その際、型式ラベルに記載の商品型式、および製造番号を併せてご連絡ください。形式ラベルは荷台下のフレームに位置しています。荷台トップを取り外してご確認ください。

型式ラベル位置



型式ラベル

補修用部品の供給年限（期間）について

本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後7年とします。

目　　次

１．安全に関する注意事項　1

本製品に添付してある警告ラベルについて ・・・・・・・・・・・・ 1

安全運転・作業のための心得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

運転前の心得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

操作のしかた ・・・

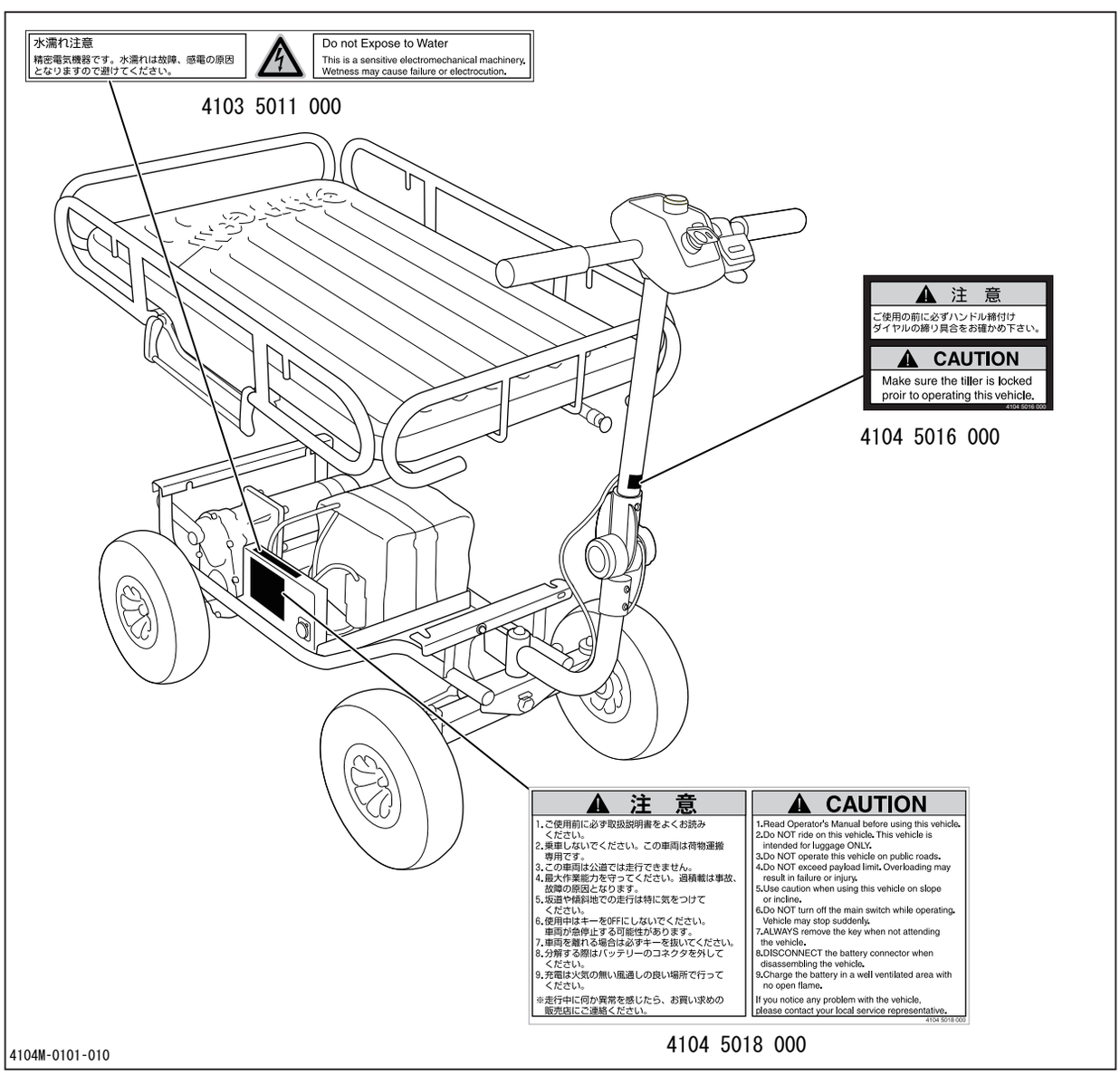
本製品に添付してある警告ラベルについて

本製品には下記の警告ラベルが添付してあります。
この警告ラベルは安全に関して特に注意を要する事項について記載してあります。本製品を使用する際には必ず警告ラベルの指示に従い、禁止事項は絶対に行わないでください。

・警告ラベルの位置および内容について十分把握しておいてください。

・警告ラベルは内容がわかるようにいつもきれいにしておいてください。
また、清掃には有機溶剤やガソリンを使用しないでください。

・警告ラベルを損傷・紛失したり判別できなくなったりした場合は、新品と交換してください。部品番号は本書または実物で確認し、販売店へ注文してください。

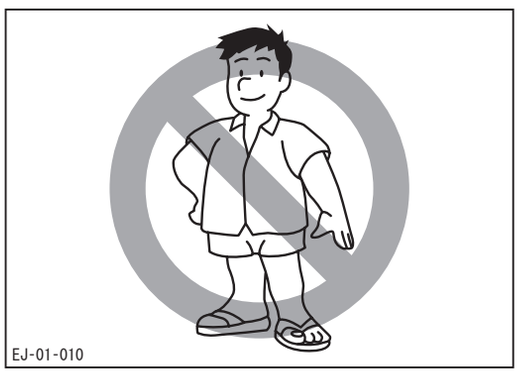


1 安全に関する注意事項

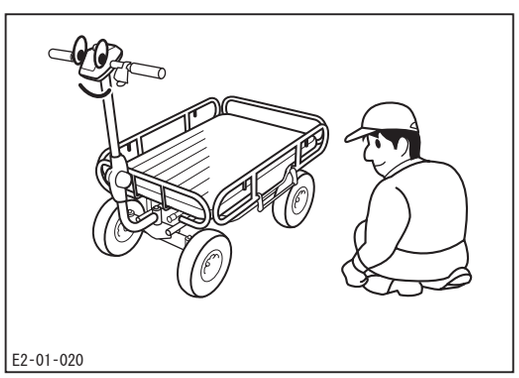
安全運転・作業のための心得

運転時・作業時に必ず守っていただきたい一般安全事項を記載しています。運転時・作業時には各章に記載されている安全事項についても必ず従い、安全運転、安全作業を心がけてください。

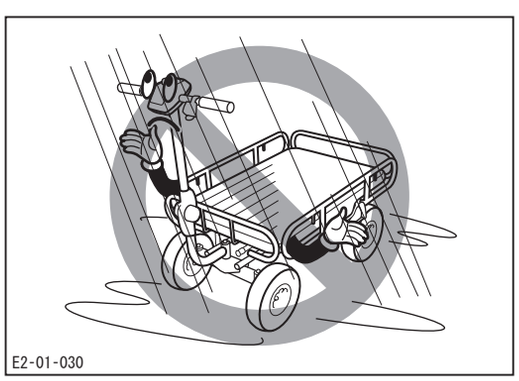
運転前の心得



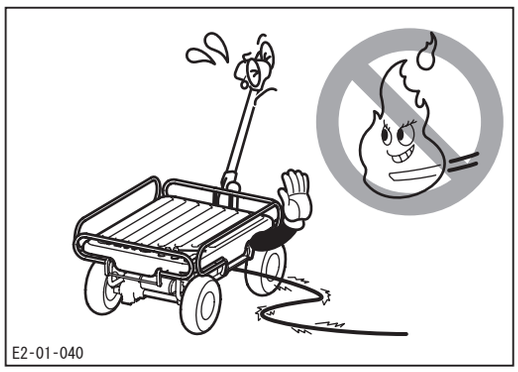
正しい服装と保護具の着用
運転・作業にふさわしい服装を心がけ、軽装やサンダル履き等で運転や作業をしないでください。



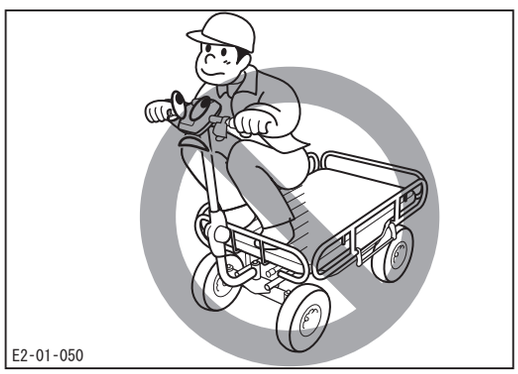
始業点検の励行
運転の前に必ず始業点検を行い、異常箇所はただちに補修してください。



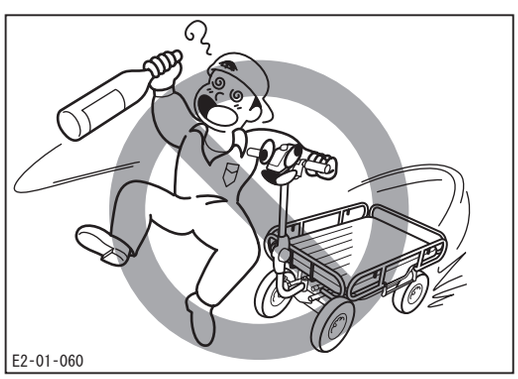
感電注意
雨天、水溜りや水没のおそれのある場所での使用はしないで下さい。また、水濡れしないようにしてください。



火気厳禁
バッテリの充電中は火気を近づけないでください。

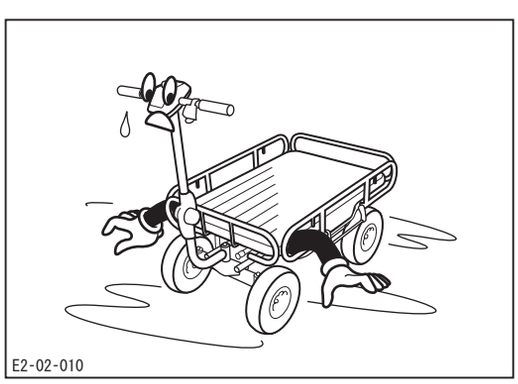


乗車禁止
本製品は乗車できません。人を乗せての運転は行わないでください。

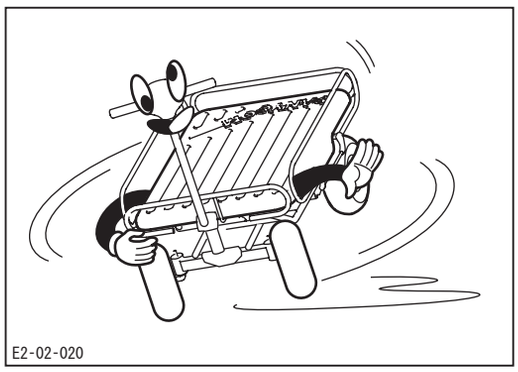


無謀運転禁止
飲酒時や体調不良時には運転・作業を行わないでください。また、本製品の運転・作業に適さない若年者による運転・作業も行わないでください。

走行時の心得

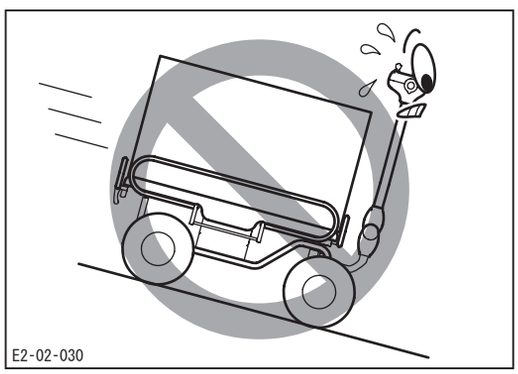


安全速度遵守
発進の前には必ず周囲の安全を確認し、走行時は走行路の勾配、路面の状態に応じた安全速度で走行してください。



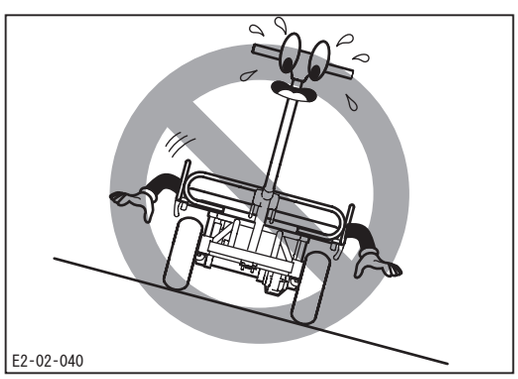
急発進、急加速、急旋回、急停止の禁止

急発進、急加速、急旋回および急停止を行わないでください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあり危険です。特に軟弱な地盤やぬれた路面では注意してください。



下り坂では低速で走行する

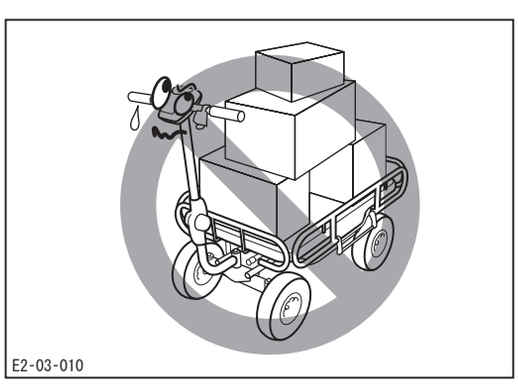
下り坂の前で一旦停止した後、低速で走行してください。



斜面の横断禁止

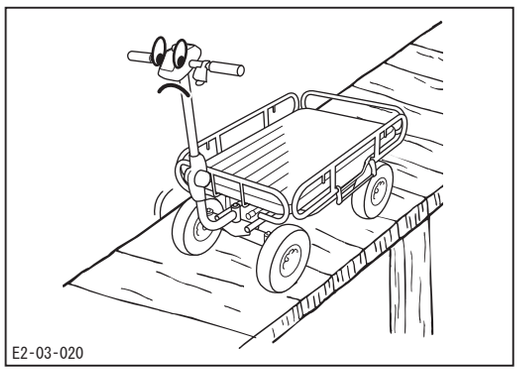
斜面はまっすぐ上り下りし、横断しないでください。車両がスリップや転倒をするおそれがあり危険です。特に軟弱な地盤やぬれた路面では注意してください。また、斜面での旋回は行わないでください。

積載時の心得



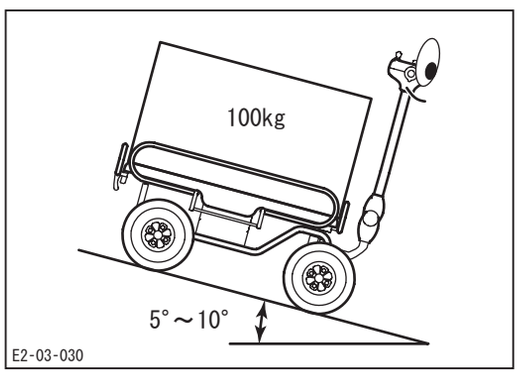
過積載禁止

本製品の最大作業能力を超える積載はしないでください。


E2-03-020

制限重量に注意

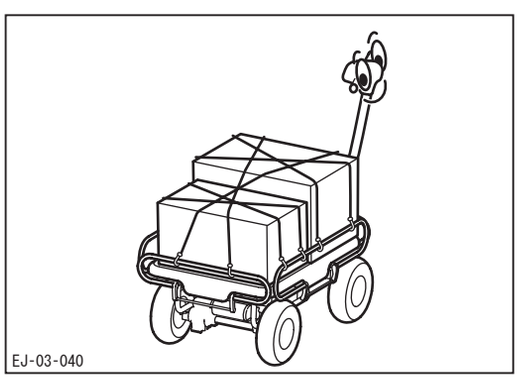
木橋等を渡る時は、機械質量と積載量および運転者の体重の総和が木橋等の制限重量を超えないことを確認し、一定速度で慎重に通過してください。



E2-03-030

傾斜地での積載量に注意

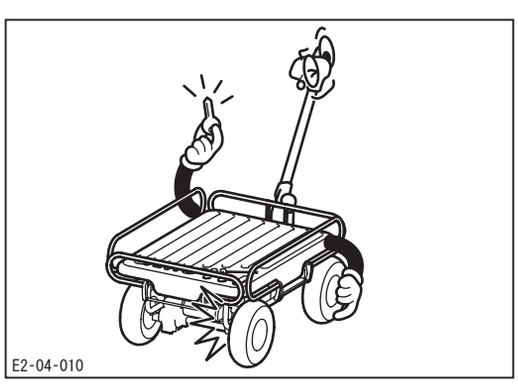
5°～10°の傾斜地では、積載量を100kg以下にして走行してください。10°～15°の傾斜地では空車で走行してください。15°を超える急傾斜地では、本製品を使用しないでください。


EJ-03-040

積荷は正しく載せる

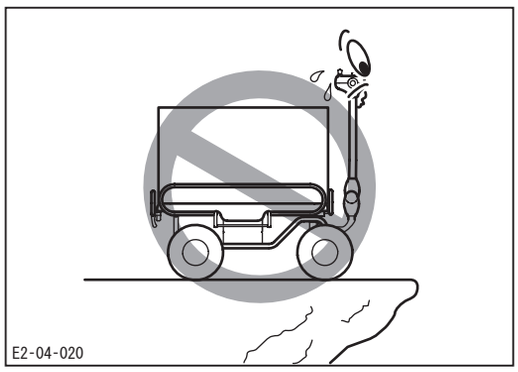
積荷は偏荷重にならないよう、荷台に均一に載せ、荷締めバンド等で固定してください。また、積荷の高さに注意し、視界を確保するよう注意してください。

駐車時の心得


E2-04-010

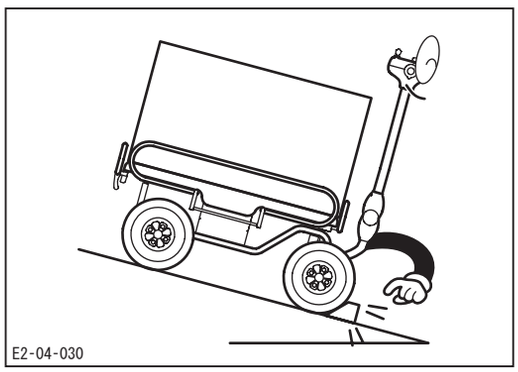
駐車時の安全確認

駐車時にはキーを忘れずに抜いてください。また、必ずブレーキをドライブの位置にしてください。



危険な場所での駐停車禁止

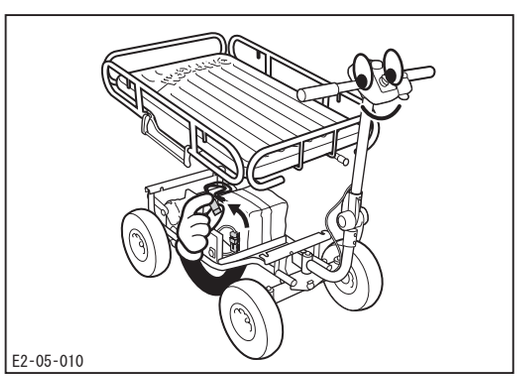
駐停車の際は地盤の固い平坦地を選び、危険な場所には駐停車しないでください。



傾斜地での輪止め励行

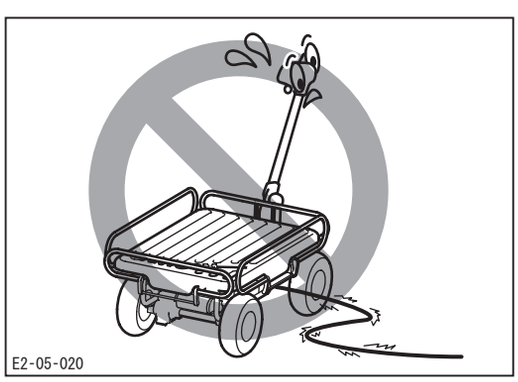
傾斜地には駐車をしないでください。やむなく傾斜地に駐車する際には、ブレーキをドライブの位置にし、輪止めをしてください。

整備時の心得



整備時はバッテリコネクタを外す

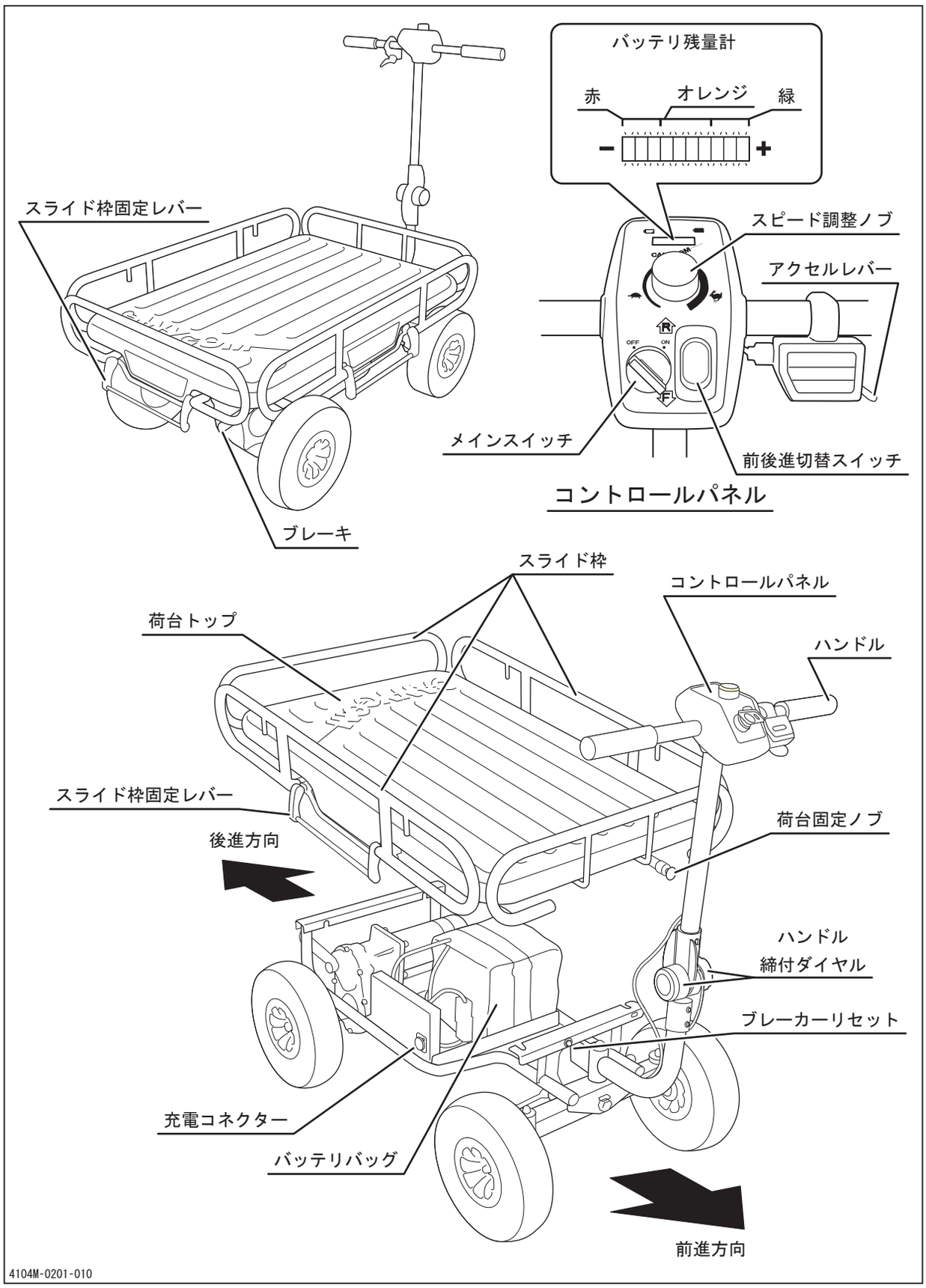
整備を行う時はバッテリコネクタを外してください。



充電中の整備禁止

充電中は整備を行わないでください。

各部の名称とはたらき


バッテリ残量計
赤
オレンジ
緑
−
+
スライド枠固定レバー
スピード調整ノブ
アクセルレバー
メインスイッチ
前後進切替スイッチ
コントロールパネル
ブレーキ
スライド枠
コントロールパネル
荷台トップ
ハンドル
スライド枠固定レバー
後進方向
荷台固定ノブ
ハンドル
締付ダイヤル
ブレーカーリセット
充電コネクター
バッテリバッグ
前進方向
4104M-0201-010

2　各部の名称とはたらき

ハンドル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥操舵を行います。

アクセルレバー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥車速を調整します。

メインスイッチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥電源の入切を行ないます。

スピード調整ノブ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥車両の最高速度を設定します。

前後進切替えスイッチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥前後進の切替えを行います。

バッテリバッグ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥バッテリはバッグに入っており、単体での充電が可能です。

バッテリ残量計‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥バッテリの残量および充電状況を表示します。

ブレーキ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ドライブ位置にするとモータのクラッチが接続されます。この状態では、アクセルレバーが操作されるまで電磁ブレーキがかかった状態となります。フリー位置にするとクラッチの接続が解除されます。

荷台トップ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥荷物を載せます。

スライド枠‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥荷台の枠はスライド式になっており、荷物のサイズにあわせて調整ができます。

スライド枠固定レバー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥スライド枠を固定、解除する時に使用します。レバーを起こすと固定が解除され、倒すと固定されます。

荷台固定ノブ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥荷台を固定、解除する時に使用します。

充電コネクタ　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥バッテリを車両に積んだまま充電する時に使用します。充電器のコネクタをここに差し込み充電を行います。

ブレーカーリセット　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥過電流が流れ、ブレーカーが落ちたときに使用します。スイッチを押すとブレーカーがリセットされます。

ハンドル締付ダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ハンドルの角度を調整するときに使用します。

本製品の仕様

⚠ 注 意
・本製品の仕様を理解した上で、正しく使用してください。

名称・型式				EJ20
機械質量（バッテリ含む）			kg	62
最大作業能力			kg	200
寸法	全長		mm	1040
	全幅		mm	610
	全高		mm	940
	ホイールベース		mm	600
	トレッド	前	mm	460
		後	mm	488
	最低地上高		mm	60
	床面高さ		mm	360
荷箱	形式			サイドフレーム式
	荷箱内側寸法	長さ	mm	813〈913〉
		幅	mm	581〈761〉
		高さ	mm	88
駆動系	バッテリ容量（20時間率）		V/AH	12V/20AH×2
	モータ（30分定格出力）			DC24Vブラシレスモータ，350W×1
	駆動方式			後2輪直接駆動方式（ディファレンシャル付き）
	制動方式			モータ発電制動・電磁ブレーキ
	充電器			マイコン制御充電器
	タイヤ	前輪		3.00-4(φ255ノーパンク)
		後輪		3.00-4(φ255ノーパンク)
性能	最高速度（前進・後進）		km/h	4.5（前進）・ 2.9（後進）
	登坂能力		度	15(空車)
	最小回転半径		m	1

〈 〉内はスライド枠延長時

※この仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

梱包品明細

No.	部　　品　　名	個　　数	備　　考
1	車両本体	1	
2	充電器	1	
3	電源ケーブル	1	
4	キー	2	
5	取扱説明書	1	本書
6	保証書	1	

使用前の準備

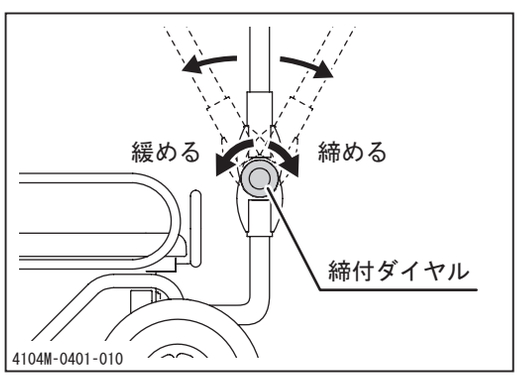
始業点検

運転前には必ず始業点検を行ってください。
点検の要領については**「定期点検表」**（☞23ページ）を参照してください。

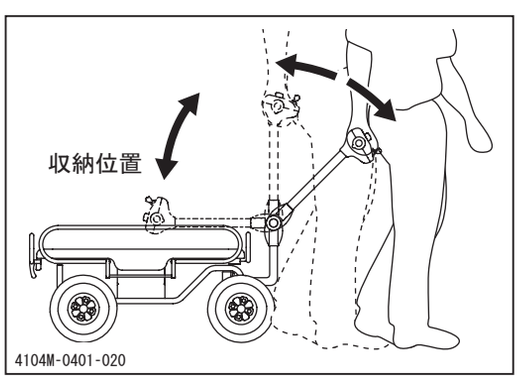
ハンドルの調整

⚠ 注　意

・ハンドルの調整を行なった時は、締付ダイヤルが確実に締まっているか確認してください。締め付けが弱いとハンドルが倒れる可能性があります。



1.　ハンドル締付ダイヤルを左に回して緩めます。



2.　ハンドルの角度を調整します。
3.　ハンドル締付ダイヤルを右に回して締め付けます。

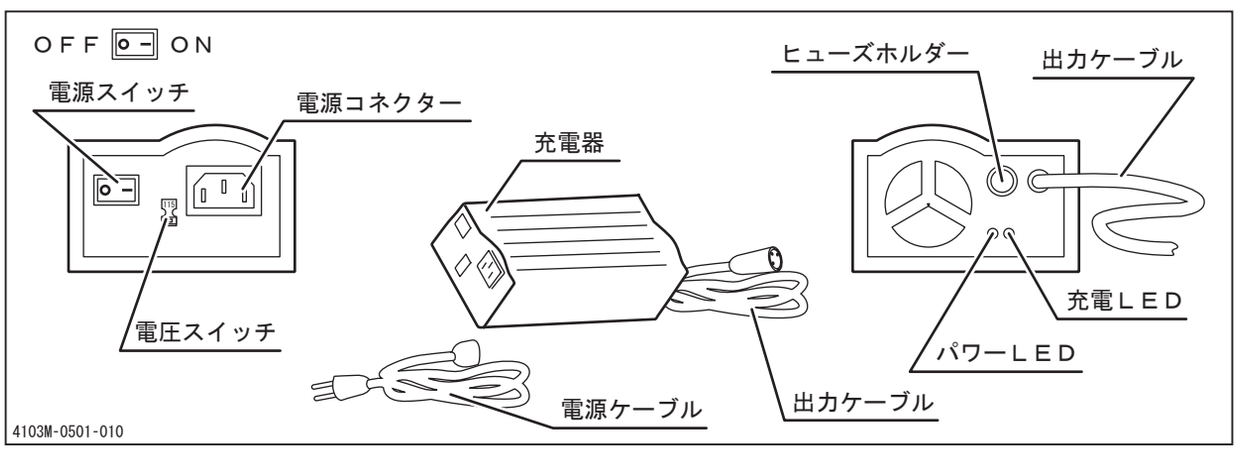
アドバイス

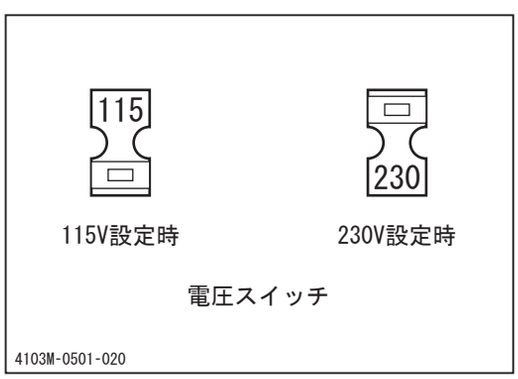
・購入時はハンドルは収納位置にあります。運転操作がしやすい角度にハンドルを調整してご使用ください。

充電器の仕様と設定

⚠ 注 意

・充電器の電圧を正しく設定して使用してください。破損の原因になります。





充電器の電圧確認

付属の充電器は電圧スイッチによって対応電圧を変えられるようになっています。電圧スイッチは、出荷時に115V（日本の一般家庭用の100Vに対応しています）に設定されていますが、最初に使用する時は念のために確認をしてください。万が一230Vに設定されている場合は、電圧スイッチの設定を115Vに変更してから使用してください。

バッテリの充電

⚠ 警 告

・バッテリから発生する水素ガスは引火性があるので、火気を近づけないでください。

・バッテリ液（希硫酸）が衣服や皮膚に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。目に入った場合にはすぐに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

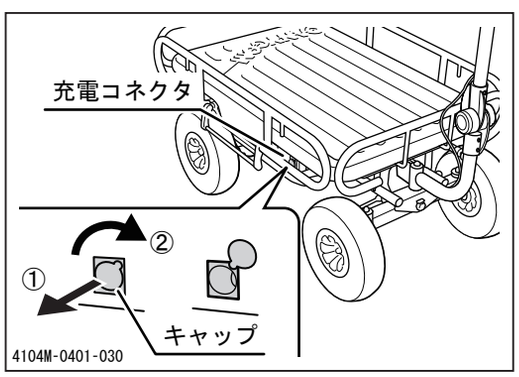
⚠ 注 意

・バッテリをバッテリバッグから取り出さないで下さい。

・バッテリの点検および取り外しのときには充電器を取り外し、メインスイッチを[ＯＦＦ]にしてください。

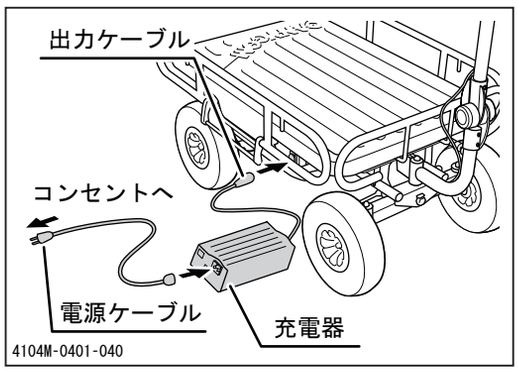
・充電器に異常な現象が起こる場合は、すぐに充電器を[ＯＦＦ]にし、接続を確認してください。

バッテリが車両に搭載された状態でも、バッテリバッグを車体から取り外しても、充電することができます。

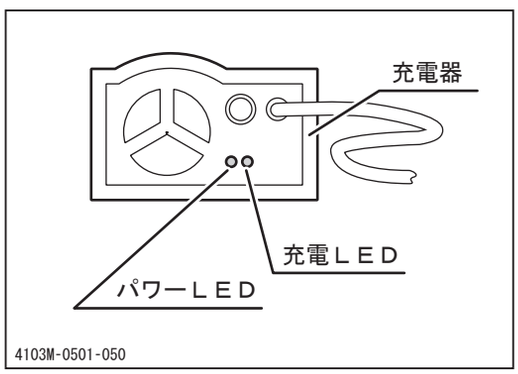


車載で充電する場合

1. 充電コネクタのゴムキャップを少し手前に引いて回し、コネクタを開けます。



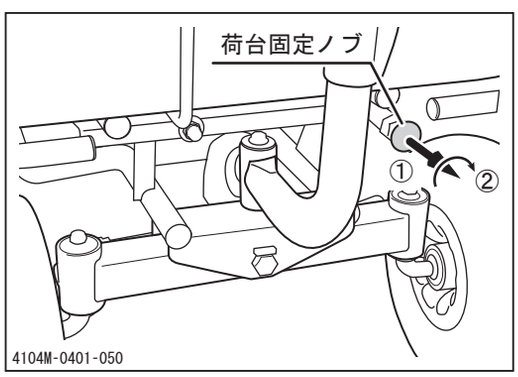
2. 電源スイッチが[ＯＦＦ]であることを確認し、コネクタに充電器の出力ケーブルのコネクタを差し込みます。
3. 電源ケーブルをコンセントにつなぎます。



4. 充電器が確実に接続されたら、電源スイッチを[ＯＮ]にします。パワーＬＥＤが赤点灯します。充電ＬＥＤが黄点灯し充電中であることを示します。
5. 充電ＬＥＤが緑点灯したら充電完了です。
6. 充電が完了したら、電源スイッチを[ＯＦＦ]にし、充電器の出力ケーブルと電源ケーブルを取り外し、コネクタのキャップを元の位置に戻します。

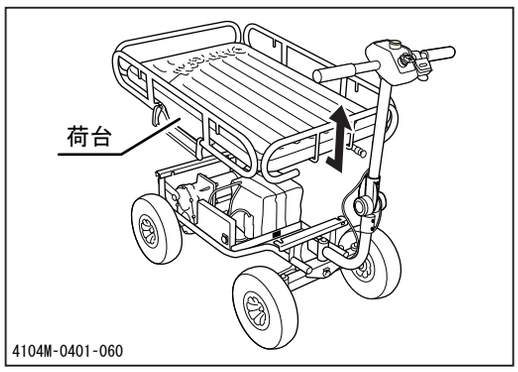
アドバイス

- **購入後、最初に使用する時は必ず充電してから使用してください。**
- **充電時は「充電ＬＥＤメッセージ機能」（☞26ページ）も参照してください。**

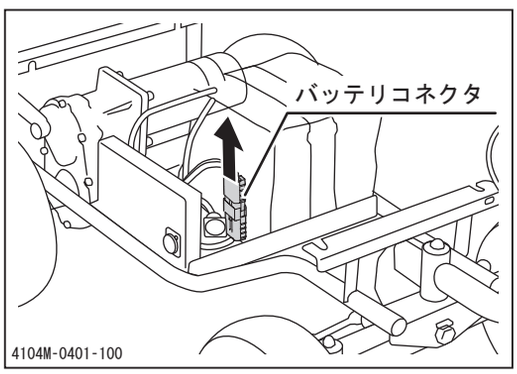


バッテリバッグを取り外して充電する場合

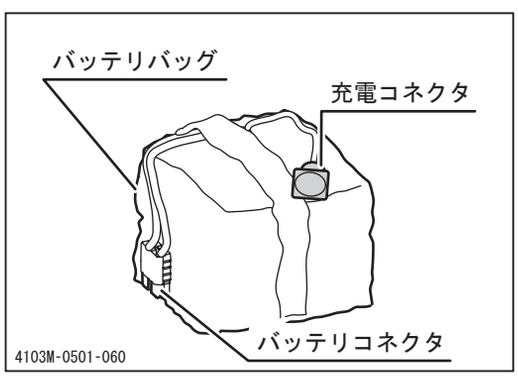
1. 荷台固定ノブを引いて90度回転し、引き出した状態で固定します。



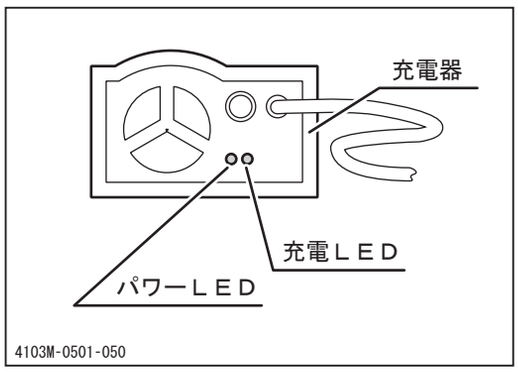
2. 荷台を取り外します。



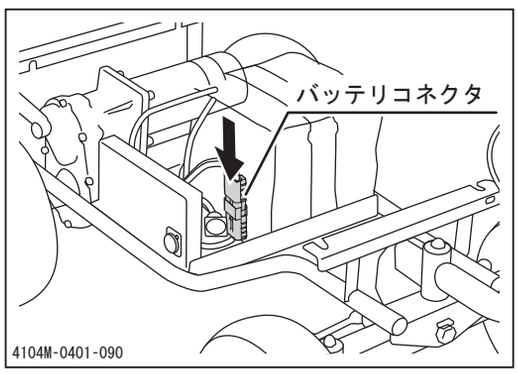
3. バッテリコネクタを外します。
4. バッテリバッグを取り外します。



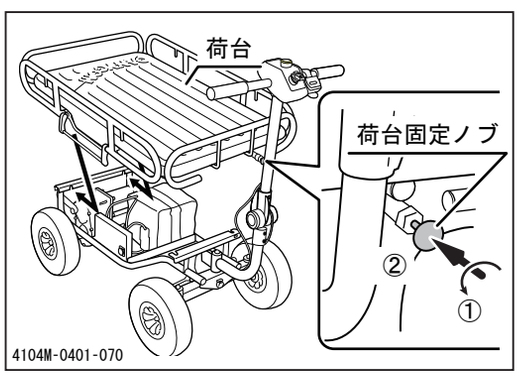
5. 充電コネクタのキャップを開き、充電器の出力ケーブルのコネクタを差し込みます。
6. 電源ケーブルをコンセントにつなぎます。



7. 充電器が確実に接続されたら、電源スイッチを[ＯＮ]にします。パワーＬＥＤが赤点灯します。充電ＬＥＤが黄点灯し充電中であることを示します。
8. 充電ＬＥＤが緑点灯したら充電完了です。
9. 充電が完了したら、電源スイッチを[ＯＦＦ]にし、充電器の電源ケーブルと出力ケーブルを取り外しバッテリバッグのコネクタのキャップを元の位置に戻します。
10. バッテリバッグを車両本体に取り付けます。



11. バッテリコネクタを接続します。

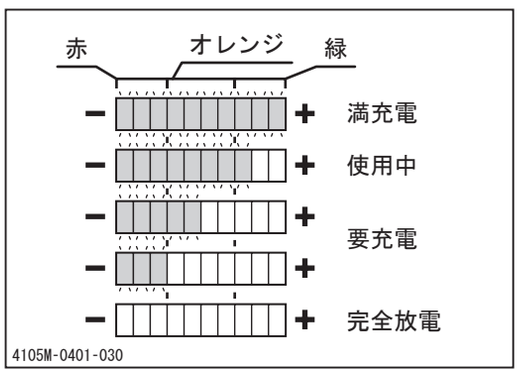


12. 車両本体の後部にある切り欠きに、荷台フレームの後部のピンを合わせて荷台を車両本体の上に置きます。
13. 荷台固定ノブを回して元の位置に戻し、荷台を固定します。

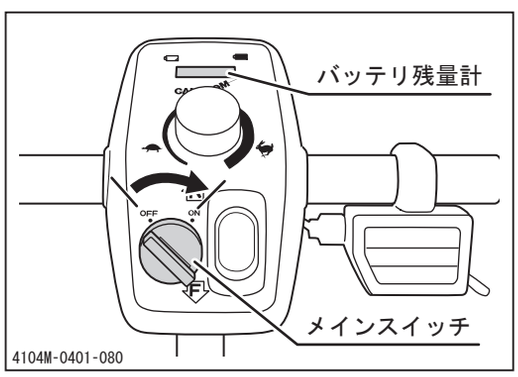
アドバイス

- **購入後、最初に使用する時は必ず充電してから使用してください。**
- **充電時は「充電ＬＥＤメッセージ機能」（☞26ページ）も参照してください。**

バッテリ残量の確認



バッテリ残量計はバッテリの充電容量の目安を表示します。10個のランプ全部が点灯しているときはバッテリが満充電であることを示します。オレンジ色のランプはバッテリ容量が少なくなっていることを示します。赤色のランプはバッテリ容量が残り少ないことを示します。



1. キーを差し込みメインスイッチを[ＯＮ]にします。
2. バッテリ残量計の表示を確認します。
3. バッテリ残量計の赤色の部分のみしか点灯または点滅するとき、または全く点灯しないときはすぐに充電してください。

アドバイス

- 完全に放電するとバッテリが痛みます。バッテリはこまめに充電するようにしてください。また、赤色のランプのみの点灯または点滅になったらすみやかに充電してください。
- 要充電状態から満充電までの充電時間の目安は約8時間です。

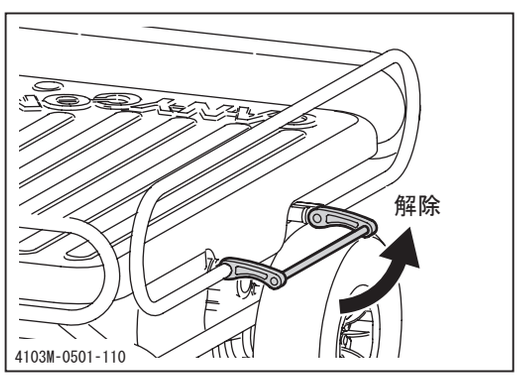
スライド枠の調整

⚠ 注 意

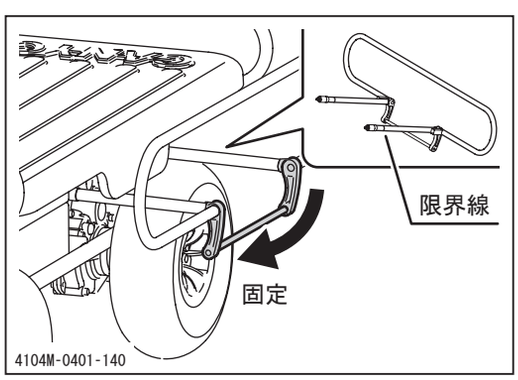
・スライド枠固定レバーは確実に固定位置に倒してください。

・スライド枠の限界線を越えて引き出さないでください。脱落や変形のおそれがあります。

・引き出したスライド枠に荷重がかからないようにしてください。脱落や変形のおそれがあります。



1. スライド枠固定レバーを起こして固定を解除します。



2. 限界線の範囲内でスライド枠を好みの位置に調整します。
3. スライド枠固定レバーを倒して固定します。

操作のしかた

平地での使用

⚠ 警 告

・操作時は本製品の周辺に人を近づけないでください。

・発進時は必ず周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進させてください。

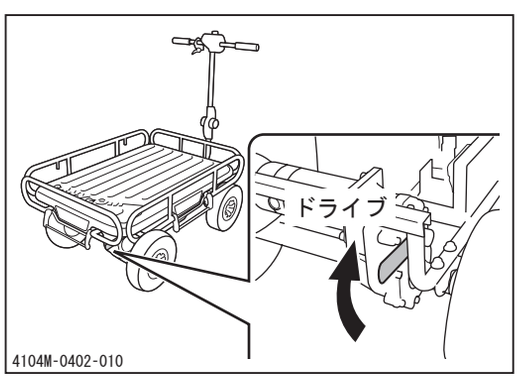
・旋回時は必ず周囲の安全を確認してください。

・急発進、急加速、急旋回、急停止を行わないでください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。

・走行中にメインスイッチを[ＯＦＦ]の位置にしないでください。

・停止の際は地盤の固い平坦地を選び、危険な場所には停車しないでください。

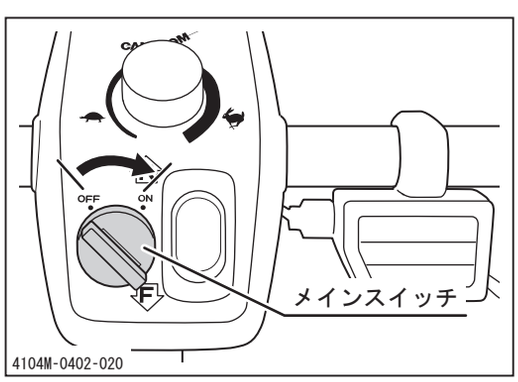
・15° 以上の坂道や傾斜地では、使用しないでください。



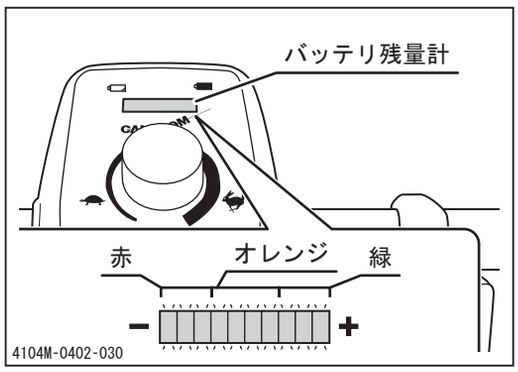
1. ブレーキレバーが[ドライブ]にあることを確認します。

アドバイス

・ブレーキレバーが[ドライブ]にないと車両が動きません。



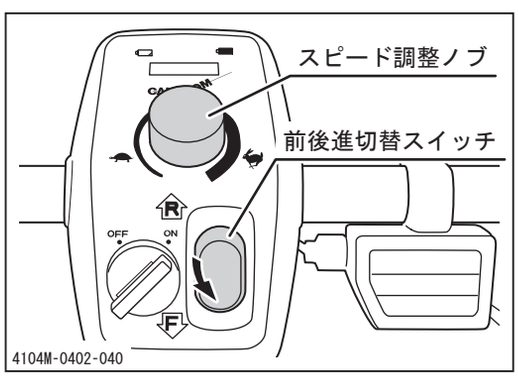
2. キーを差し込み、メインスイッチを[ＯＮ]にします。



3. バッテリ残量計が点灯します。

アドバイス

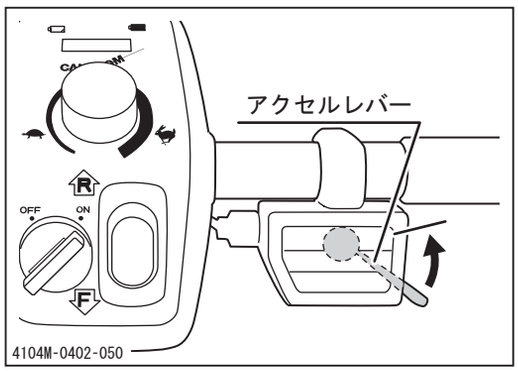
- メインスイッチ投入時はアクセルレバーを操作しないで下さい。メインスイッチ投入後約１秒間はコントローラーが自己診断を行なうので、アクセルレバーの操作を行なうとエラーが出ます。エラーが出た場合は一度メインスイッチを[ＯＦＦ]にしてから再度[ＯＮ]にしてください。
- バッテリ残量が少ないときはバッテリを充電してください。バッテリ残量計が点滅しているときは「バッテリ残量計エラー診断機能」（☞25ページ）を参照してください。



4. スピード調整ノブで最高スピードを設定します。
5. 前進する場合は前後進切替えスイッチが[Ｆ（前進）]になっていることを確認します。

アドバイス

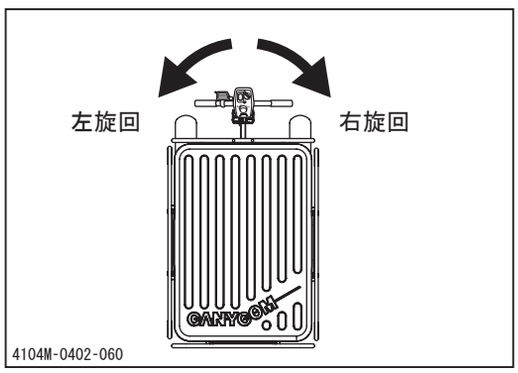
- 慣れるまではスピード調整ノブを[（低速）]側に設定し、ゆっくりと走行してください。



6. アクセルレバーを押すと前進します。アクセルレバーの押し具合によってスピードを調整することができます。
7. 後進する場合は前後進切替えスイッチを[R（後進）]にします。
8. アクセルレバーを押すと後進します。アクセルレバーの押し具合によってスピードを調整することができます。

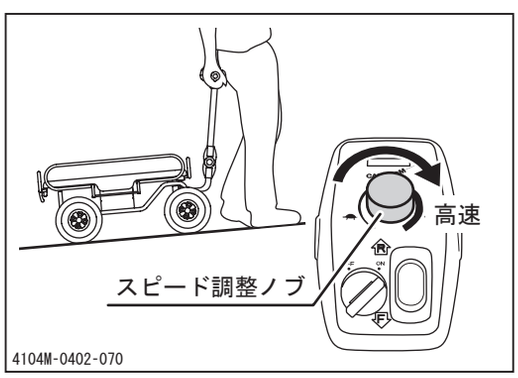
アドバイス

・緊急時はアクセルレバーから手を放してください。停止します。
・過積載または急傾斜では安全のため保護機能が働き駆動力を低下させるようにしています。この場合は積み荷を減らすか、急傾斜での使用をおやめください。



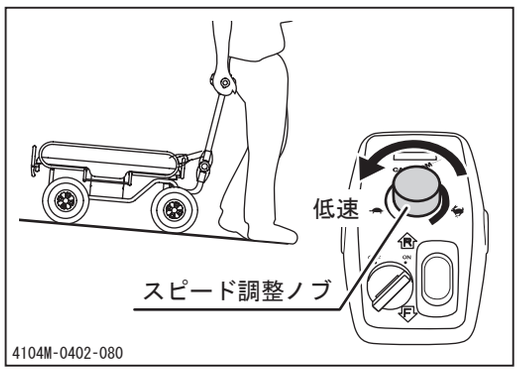
9. ハンドルを左右に動かして操舵をします。
10. 使用が終わったらメインスイッチを[ＯＦＦ]にし、キーを抜き取ります。

坂道での使用



上り坂での使用

1. 上り坂で車両が動かない、または動きが遅いときはスピード調整ノブを[(高速)]側に設定してください。



下り坂での使用

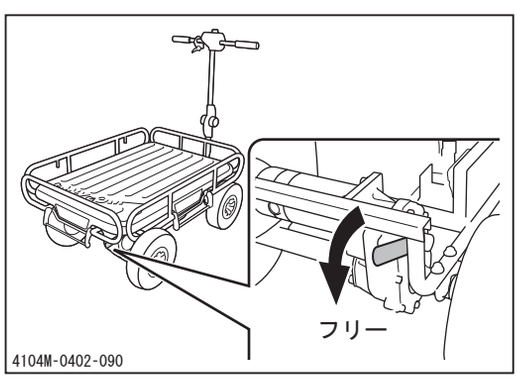
1. 坂道を降りるときは、スピード調整ノブを[(低速)]側に設定し、ゆっくりと降りてください。

バッテリ切れの時の操作

⚠ 警 告

・緊急の場合を除き[フリー]にしないでください。車両が暴走するおそれがあります。

バッテリが切れたときは、ブレーキを[フリー]にして手動で操作できます。



1. 荷物が載っている場合は荷物を降ろします。
2. ブレーキを[フリー]にします。
3. 車両をゆっくり操作します。

アドバイス

・[フリー]時はブレーキが効きません。

定期点検表

⚠ 注　意

・点検や整備を怠ると事故の原因となります。本製品の正常な機能を維持するために下表を参考に定期点検を行ってください。

・始業点検は毎日、月次点検は1ヶ月に1回行ってください。

・下記の点検内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない点検内容については販売店（当社センター）へ依頼してください。

項目			点検内容	点検時期		備考
				始業	月次	
電気系	バッテリ	バッテリの状態	十分な充電残量があること	○	○	
			液漏れ、破損などがないこと	○	○	
		充電状態	正常に充電できること		○	
			充電時にバッテリ、充電器の加熱、ヒューズ切断などがないこと	○	○	
	LED充電	エラーメッセージの有無	エラーメッセージがないこと	○	○	
	バッテリ残量計	エラーメッセージの有無	エラーメッセージがないこと	○	○	
操作系	ブレーキ	ブレーキの位置	ブレーキが[ドライブ]に入っていること	○	○	
	アクセルレバー	アクセルレバーの戻り	手を放すとアクセルレバーが停止位置に戻ること	○	○	
		アクセルレバーの機能	アクセルレバーを操作することで車両が正常に前進・後進・停止すること	○	○	
	ハンドル	ハンドル操舵	スムーズに操舵できること	○	○	
走行系	タイヤ	タイヤの状態	タイヤに亀裂、磨耗、パンクがないこと	○	○	
		トレッドの溝	トレッド面に十分な溝があること	○	○	
車体系	スライド枠	スライド枠の操作	スライド枠固定レバーを起こした時、スムーズにスライドできること	○	○	
		スライド枠固定レバー	スライド枠固定レバーを倒した時、スライド枠が確実に固定されること	○	○	
		スライド枠の曲がり	スライド枠に曲がり、歪みがないこと		○	
その他	フレーム	フレームの曲がり	フレームに曲がり、歪みがないこと		○	

消耗部品（交換部品）一覧表

項　　目	部品番号	交換インターバル	個　数	参　照
電気関係				
バッテリ	41030013000	不具合があれば交換	1	
充電器ヒューズ	41030031000	不具合があれば交換	1	☞27ページ
走行装置				
タイヤAssy（前）	41042121000	不具合があれば交換	2	
タイヤAssy（後）	41042101000	不具合があれば交換	2	
荷台関係				
ゴムブッシュ	41034018000	不具合があれば交換	6	☞29ページ

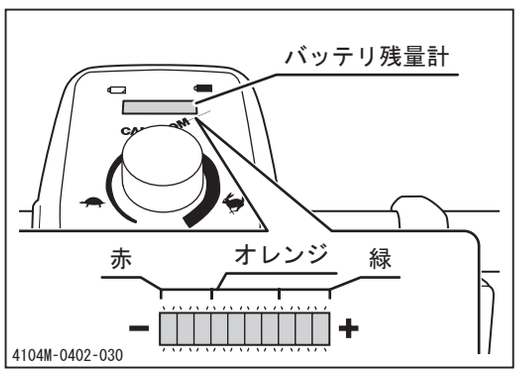
アドバイス

・タイヤなどのゴム製品は使わなくても劣化する消耗品です。2年毎、または傷んだときには、新品と交換してください。

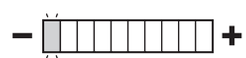
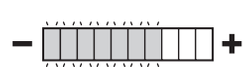
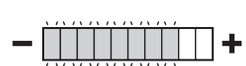
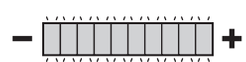
・バッテリは完全に放電すると充電できなくなります。早めに補充電をしてください。長期間使用しないときは「長期保管のしかた」（☞30ページ）を参照してください。

メッセージ機能

バッテリ残量計エラー診断機能

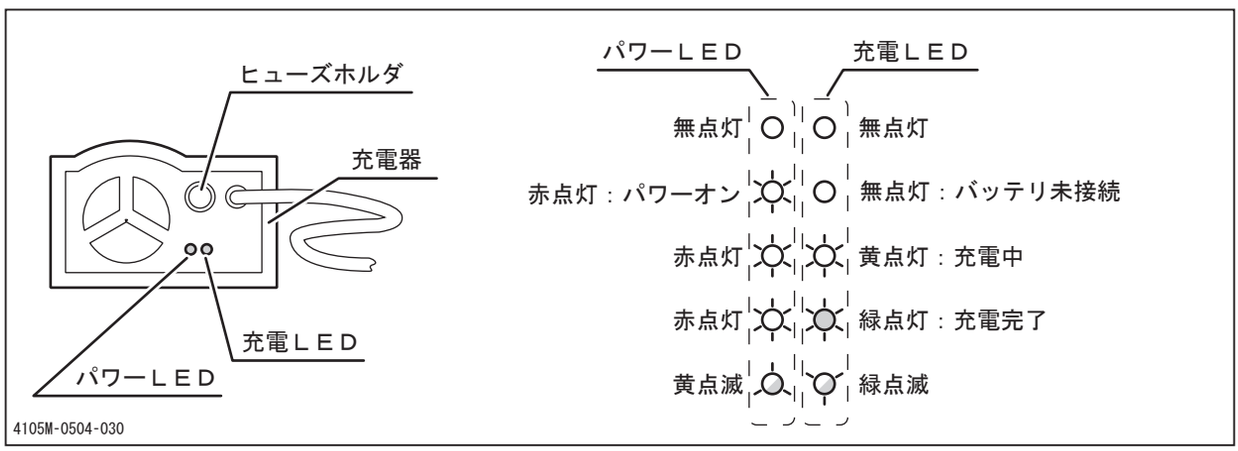


車両の電気回路を診断し、異常があれば表示します。通常時はランプが常時点灯しています。制御回路に不具合がある場合はランプが点滅します。

点灯パターン	点滅個数	内容	処置
	常時点灯	正常	−
	1個×1回点滅	バッテリ接続不良またはバッテリ過放電	→バッテリの接続を確認します。点滅が続く場合はバッテリを充電します。
	2個×2回点滅	モータ接続不良	→モータの接続を確認します。点滅が続く場合は販売店へお問い合わせください。
	3個×3回点滅	バッテリ・モータ間の接続にショートがある	→販売店へお問い合わせください。
	6個×6回点滅	充電器の出力ケーブルが接続している	→充電器の出力ケーブルを抜いてください。
	7個×7回点滅	保護モードに入っている	→起動時にアクセルレバーが停止位置にあることを確認して再起動します。点滅が続く場合は販売店へお問い合わせください。
	8個×8回点滅	制御回路障害	→販売店へお問い合わせください。
 4105M-0504-020	10個×10回点滅	過電圧	→販売店へお問い合わせください。

エラー時はエラーの内容によりバッテリ残量計のランプが所定の回数点滅します。上の表でエラーメッセージとランプ位置の関係をご確認ください。

充電ＬＥＤメッセージ機能



充電器には、電源が入っていることを示すパワーＬＥＤと、充電状況と回路の状況を示す充電ＬＥＤが付いています。

パワーＬＥＤ	充電ＬＥＤ	状態	対処方法
無点灯	無点灯	・電源が入っていない	―
赤色点	無点灯	・電源[ＯＮ]、バッテリ無接続	・充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、バッテリを接続して再度[ＯＮ]にします。また、ヒューズホルダをはずしヒューズを確認します。
赤点灯	黄点灯	・充電中	―
赤点灯	緑点灯	・充電完了	・充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、バッテリコネクタを外します。
黄点滅（短時間）	緑点滅（短時間）	・充電中	・短時間の点滅は正常な現象です。長時間（40分以上）黄／緑点滅が続く場合はバッテリが破損している可能性がありますので販売店へご相談ください
上記以外の組み合わせ		・回路、接続またはバッテリの異常	・直ちに充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、充電器とバッテリの接続を確認します。接続に異常が見られない場合は販売店へご相談ください。

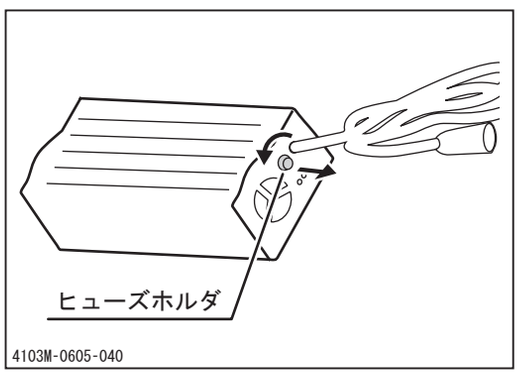
保護機能

充電器ヒューズ

⚠ 注　意

・ヒューズを交換する前に、過電流の原因を取り除いてください。過電流の原因を取り除かずにヒューズを交換しても、再度ヒューズが切れます。

・ヒューズは必ず指定容量のものと交換してください。故障する恐れがあります。



1. 充電器のスイッチを[ＯＦＦ]にし、電源ケーブルをコンセントからはずします。
2. ヒューズホルダをはずし、ヒューズを交換します。
3. ヒューズホルダを取り付けます。

アドバイス

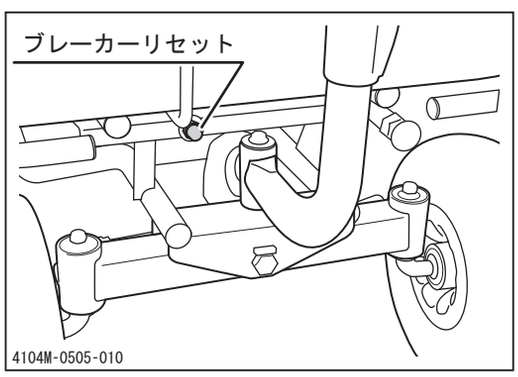
・指定ヒューズ：☞24ページ

ブレーカー機能

⚠ 注 意

・ブレーカーをリセットする前に、過電流の原因を取り除いてください。過電流の原因を取り除かずにリセットしても、再度ブレーカーが作動します。

本製品には、過電流時に電流を遮断し、車体への障害を防ぐブレーカー機能がついています。ブレーカーが作動した時は、ブレーカーリセットを押してブレーカーをリセットします。



ブレーカーのリセット

1. メインスイッチを[ＯＦＦ]にします。
2. 過電流の原因を取り除きます。
3. ブレーカーリセットをカチッと音がするまで押します。

アドバイス

・ブレーカーが作動する原因として配線の断線や挟み込みが考えられます。リセットしてもブレーカーが作動する場合は販売店にお問い合わせください。

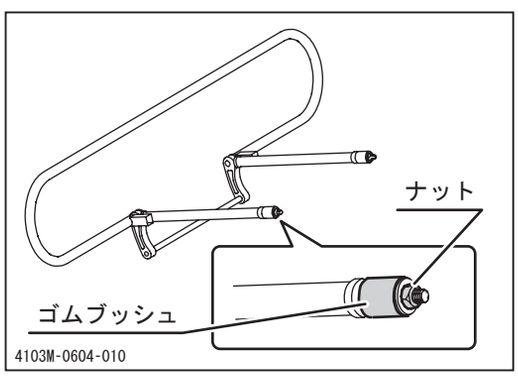
車体の調整

ゴムブッシュの調整・交換

⚠ 注　意

・ゴムブッシュに油などを塗らないでください。スライド枠が固定できなくなります。

スライド枠が固定できない、スライド枠の動きが悪い場合は、スライド枠のゴムブッシュの調整を確認してください。



1. スライド枠固定レバーを起こして固定を解除し、スライド枠を取り外します。
2. ナットの締まりを調整します。スライド枠の動作が固い時はナットを緩め、緩いときはナットを締めます。
3. ゴムブッシュが劣化している場合はゴムブッシュを交換します。
4. スライド枠を荷台フレームに取り付け、スライド枠固定レバーを倒して固定します。

アドバイス

・交換部品：☞24ページ

使用後のお手入れ

⚠ 注　意

・モータや操作パネルの水洗いはしないでください。水の浸入による故障や錆び付きのおそれがあります。

・付着物は凍結して故障の原因となりますので、きれいに取り除いてください。

・凍結して運転不能となった場合は無理に動かさないでください。

1. 使用後は車両に付着した草や泥などの異物を取り除きます。
2. 倉庫、納屋などに保管する場合は、カバー等をかけて保管します。
3. 使用後は必ず充電してください。完全に放電するとバッテリが痛みます。

長期保管のしかた

⚠ 注　意

・モータや操作パネルの水洗いはしないでください。水の浸入による故障や錆び付きのおそれがあります。

・付着物は凍結して故障の原因となりますので、きれいに取り除いてください。

・湿気やほこりの多い場所に格納しないでください。

1. 車両に付着した草や泥などの異物を取り除きます。
2. 車両からバッテリバッグを取り外します。
3. 防水カバー等をかけて保管します。

☝アドバイス

・バッテリは使用しなくても放電してしまいます。約3ヶ月は蓄電していますが、放電してしまわないうちに充電するとバッテリを長持ちさせることができます。

不具合診断表

・不具合と考えられる現象が起きた場合は本製品の使用を停止し、下記の不具合診断表を参照して適切な処置をとってください。不具合診断表に記載されていない不具合が発生した場合や、適切な処置をとっても不具合が解消されない場合は、販売店（当社センター）へ連絡してください。

・下記の処置内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない処置内容については販売店（当社センター）へ依頼してください。

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
操作関連	メインスイッチを「ON」にしても電源が入らない（バッテリ残量計が点灯しない）	コネクタ類の接続不良	→コネクタ類の接続を確認する	
		バッテリ・コネクタの接続不良	→バッテリ・コネクタの接続を確認する	
		バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		ブレーカーが落ちている	→ブレーカーをリセットする	28ページ
		スイッチ、制御回路、配線等の不良	→販売店へお問い合わせください	
	ブレーカーがすぐに落ちる	断線、ショートしている	→すぐにメインスイッチを[OFF]にし、販売店へお問い合わせください	
		ブレーカーの不良	→販売店へお問い合わせください	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
	バッテリ残量計が点滅している	制御回路、配線等の不良	→**「バッテリ残量計エラー診断機能」**を参照してください	25ページ

6 不具合発生時の処置

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
操作関連	アクセルレバーを操作しても車両が動かない	バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		アクセルに異物が挟まっている	→異物を取り除く	
		アクセルレバーの作動不良	→販売店へお問い合わせください	
		スイッチ、制御回路、モータ、配線等の不良	→販売店へお問い合わせください	
走行関連	速度が遅い	スピード調整ノブの設定	→スピード調整ノブを調整する	
		バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		過積載で登坂	→坂道での使用については**「安全に関する注意事項」**を参照してください	5ページ
		過積載	→積荷を減らす	4ページ
		車軸回りに草などが堆積あるいは巻き付いている	→車軸を清掃する	
		モータ、制御回路、配線などの不良	→販売店へお問い合わせください	
	速度が速すぎる	スピード調整ノブの設定	→スピード調整ノブを調整する	
		制御回路の不良	→販売店へお問い合わせください	
	スピード調整が働かない	制御回路の不良	→販売店へお問い合わせください	
	アクセルレバーから手を放しても車両が完全に停止しない	レバースイッチに異物が挟まっている	→異物を取り除く	
		ブレーキ、制御回路不良	→販売店へお問い合わせください	

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
走行関連	ハンドルを切ってもタイヤが曲がらない	ハンドルリンケージの不良	→販売店へお問い合わせください	
充電関連	バッテリの消耗が早い	過積載で登坂	→坂道での使用については**「安全に関する注意事項」**を参照してください	5ページ
		過積載	→積荷を減らす	4ページ
		車軸回りに草などが堆積あるいは巻き付いている	→車軸を清掃する	
		モータ、制御回路、配線などの不良	→販売店へお問い合わせください	
		バッテリの劣化	→バッテリを交換する	
	充電できない	充電器、バッテリ等の接続不良	→接続を確認する	
		バッテリの劣化	→バッテリを交換する	
	充電器のＬＥＤが点滅している	充電器の障害	→**「充電ＬＥＤメッセージ機能」**を参照	26ページ
	充電器のヒューズが飛ぶ	断線、ショートしている	→販売店へお問い合わせください	
	充電器、バッテリが異常に加熱する	充電器またはバッテリの障害	→販売店へお問い合わせください	
荷台関連	スライド枠が固定できない（緩い）	ゴムブッシュ締め付けの緩み	→ゴムブッシュ締め付けナットを締める	29ページ
		ゴムブッシュの劣化	→ゴムブッシュの交換	29ページ
	スライド枠が動かない（固い）	ゴムブッシュの締め付け過ぎ	→ゴムブッシュ締め付けナットを緩める	29ページ
		ゴムブッシュの劣化	→ゴムブッシュの交換	29ページ
		錆付き	→販売店へお問い合わせください	

7 本製品の移送

トラックへの積み降ろし要領

⚠ 警 告

・トラックは平坦な場所に停め、必ず輪止めをしてください。

・作業中は車両およびアユミ板の周辺には人を近づけないでください。

・アユミ板は、十分な強度（機械質量と運転者の体重の総和に十分耐え得ること）、幅（30cm以上）、長さ（トラックの荷台床面高さの4倍以上）のあるすべり止め付きのものを使用してください。

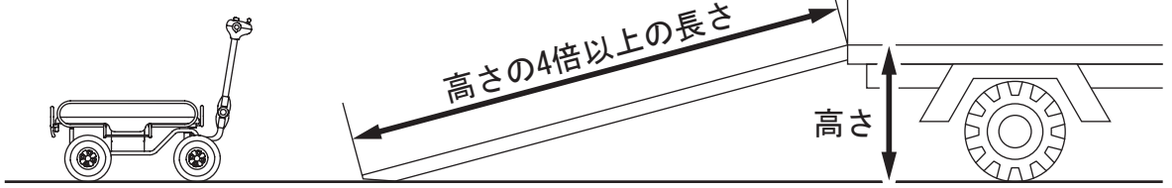
・アユミ板のフックは荷台との段差がなく、また、ずれないように確実にかけてください。

・積み降ろしは歩行運転で行ってください。

・前進でゆっくりと積み込んでください。

・アユミ板の上で旋回を行わないでください。転落のおそれがあります。

・輸送中に車両が動かないようにトラックの荷台に確実に固定してください。



4104M-0701-010

1. トラックを平坦な場所に停め、輪止めをします。
2. アユミ板のフックを荷台との段差がなく、また、ずれないように確実にかけます。
3. 歩行運転、前進でゆっくりと積み込みます。
4. **「運転のしかた」**（☞17ページ）の手順に従い、車両を停止し、ロープ、ワイヤ等で車両を荷台に確実に固定します。